

女性医師支援に力

出産や子育てで就業やキャリア形成に悩む女性医師の相談に乗るため、県が浜松市東区の浜松医科大学付属病院内に開設した「ふじのくに女性医師支援センター」が八日、本格的に活動をスタートさせた。

(飯田樹子)

同センターでは、職場復帰を希望する女性医師に、専任のコーディネーター二人が対応する。その一人の橋田菜穂子さんによると、相談の八割が子どもの預け先だつたため、託児施設のある医療機関を紹介する。今後は付属病院内の診療科や、医療施設ごとに異なる就業時間や内容など勤務条件を把握し、復職を後押しする。

ほかにも、復帰前の職

員



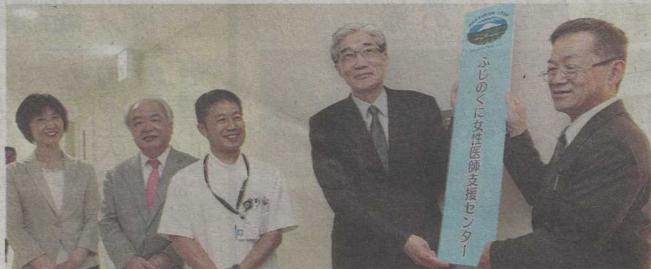
女性医師の相談に乗るコーディネーターの谷口千津子さん(右)と橋田菜穂子さん(左)。いずれも浜松市東区の浜松医科大学付属病院で

場見学や事前研修などの成績は浜松医科大学だけで、人口十万人あたりのラムをつくり、運用すればみると、静岡は四十番目(二〇一四年)県地域医療課によると少なく、医師が不足状況である。

性の割合は全国的に増加傾向にあり、現在は全体の20%を超える。年代が若くなるにつれて割合が増える半面、年齢が上がるにつれて出産や子育てを理由に離職者が増えている。さらに、県内の医師養成機関は浜松医科大学だけではなく、今野弘之学長は「全県にわたって女性医師にとって必要不可欠な活動をしていきたい」とあります。県健康福祉部の山口重則部長とともにセンターの入り口に看板を掛けた。

もう一人のコーディネーターで医師の谷口千津子さんは「やる気がある悩んでいる方に相談に来てもらい、生き方、働き方のヒントを見つけてもらえたう」と呼び掛けている。

問い合わせは、同センター=電053(43)23800へ。



ふじのくに女性医師支援センターの開設を祝う関係者